

令和7年度第2回高知県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
四国職業能力開発大学校附属高知職業能力開発短期大学校部会（開催概要）

〈開催概要〉

1. 開催日時 令和8年1月29日（木）10:00～11:30
2. 開催場所 四国職業能力開発大学校附属高知職業能力開発短期大学校  
本館1階 126研修室

3. 議題

- (1) 令和7年度実施状況  
(2) 令和8年度実施計画（案）  
(3) 各種取組報告  
(4) その他

4. 議事経過

事務局から資料に沿って説明後、質疑応答、意見交換が行われた。  
主な意見の要旨は、次のとおり。

- ・ものづくりは、相手の意図を汲み取り必要な情報を引き出すコミュニケーション能力が不可欠であり、技能・技術とコミュニケーション能力の両輪で人材育成に力を入れてほしい。
- ・就職志向が強い学生に資格を取得できる等の進学の魅力伝えていく工夫が必要。多くの学校では7月の三者面談で進路が早期に固まるので、オープンキャンパスを早期に開催することが望ましい。
- ・イベント等で大学案内のパンフレットを配付して高校生等に説明、女子校への案内の送付、ものづくりフェスタ等で資料の配付等、地道な取組みが必要。どのような学校に魅力を感じるか学生にアンケート調査や、どうすれば応募者数が増えるのか在校生にアンケート調査するのも有効ではないか。
- ・高度経済成長下と現在の社会状況下では、工業に対する学生の魅力の感じ方が変わり、また、大企業の工場がある地域と中小零細企業の工場が多い高知県では工業に対する学生の魅力の感じ方にも違いがある等、高知県の構造的な問題でもあって高知短大の個別の努力だけでは限界もあると考えられるが、工業は社会の基幹を担う重要な産業であり、入校の応募が少ない困難な状況でも組織的・総合的な取組みが必要である。

令和7年度第2回高知県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
四国職業能力開発大学校附属高知職業能力開発短期大学校部会（委員名簿）

川田 勲	（座長） 国立大学法人高知大学名誉教授
近藤 邦夫	一般社団法人高知県専修学校各種学校連合会会長
市川 稔道	日本労働組合総連合会高知県連合会事務局長
畠中 義雄	香南市商工会会長
徳島 弘晃	一般社団法人高知県工業会人材育成委員
杉本 健治	高知県商工労働部雇用労働政策課長
萩野 大輔	香南市商工観光課長
西野 益貴	高知公共職業安定所香美出張所長